

- 地域とつながる -

安心の在宅療養へ



☎ 磐田市立総合病院 入退院管理室

☎ 0538-38-5000 (代) FAX 0538-38-5050

高齢化が進む中で、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けたいと多くの人が望んでいます。しかし、実際には病気やケガによる入院などで、住居や生活スタイルを変えなければならぬ人もいます。

磐田市立総合病院では入退院時の不安を少しでも解消するために「入退院支援」に取り組んでいます。地域のケアマネジャー（介護支援専門員）などと協力し、退院後も以前と変わらぬ場所での在宅療養できるように具体的なサポートを行っています。

退院前カンファレンスで不安解消

「家に帰りたけれど病院の方が安心」「自宅に帰ってから何かあるとどうしたらよいか分からない」。入退院支援では、そんな退院後の不安を解消するためのカンファレンス（話し合い）を行っています。看護師、医師、薬剤師、ケアマネジャー、ソーシャルワーカーなど専門スタッフがそれぞれの経過を踏まえて、退院後の生活を想定した話し合いを行い、

患者本人や家族へアドバイスします。

カンファレンスは多いときには10人以上の専門スタッフが参加し、患者1人に対し1〜2回、月平均40回ほど行っています。退院前後での体の状態の変化やそれに伴う生活環境の改善点や注意点など、十分な時間をかけて話し合います。

ケアマネジャーの役割

入退院支援で重要な役割を果たしているのがケアマネジャーです。介護サービス利用者が入院した場合、退院後に元通りの生活が送れる人ばかりではありません。ケアマネジャーは入院前の利用者の生活の様子を知っているため、病院から家庭や施設へと環境が変わっても、利用者が入院前に近い生活を送れるようにサポートしてくれます。

情報共有でより良い支援を

病院とケアマネジャーは利用者の入院時から本人や家族の了承を得た上で、生活状況やサービス利用内容を情報共有し、入



院中から支援に役立てています。カンファレンスでも、医療を行う病院と、退院後の生活を支えるケアマネジャーなどが顔の見える関係で情報共有することで、患者の退院後の住まい、医療、介護、予防、生活支援を一体的に整えることができます。その結果、退院前に患者個々の状態に合わせた支援を構築することができ、退院後の変化にもより迅速な対応ができるようになります。

安心の在宅療養とは

病院でも自宅でも、必要とする支援が受けられれば住み慣れた地域で暮らし続けることができます。退院後も必要なときにすぐに支援ができるよう、病院が地域とつながりを保ち安心な在宅療養を支えます。

看護師とケアマネジャーなどで合同研修会を実施しました



◀真剣な表情の参加者



全ては患者のために

市立総合病院は毎年ケアマネジャーと合同研修会を開催しています。研修会には市内のケアマネジャーと看護師、ソーシャルワーカーなど約100人が参加し、グループワークなどを通じてお互いの仕事内容や役割についての理解を深めています。

グループワークではカンファレンスのあり方や共有する記録の内容について積極的に話し合い、グループごとに発表を行いました。今後も連携を深め、現状やニーズに即した支援ができるような体制づくりに取り組んでいきます。

参加者の声



磐田ケアマネ連絡会
会長 稲葉進作さん
(豊仙苑居宅介護支援事業所)

今回の研修会では、看護師からの具体的な質問が多くて驚きました。これもお互いの業務内容についての理解が進み、連携が取れてきた結果ではないかと思えます。これまでカンファレンスで病院側と壁を感じることもありましたが、しかし研修に参加し、看護師と顔を合わせて話をする事でお互いのことが分かり、また、院内での相談先がはっきりすることで、利用者についての細かい調整がしやすくなりました。これからも病院と地域をつなぎ、住みやすい地域をつくっていったらと思います。

市民情報誌 「思いやり医療」のご案内

市立総合病院の看護部在宅療養支援検討委員会では、市民情報誌「思いやり医療」を作成しています。介護保険の案内や在宅サービス、療養型病院やリハビリ病院、施設などの情報を掲載していますので、退院後の生活にお役立てください。

正面玄関、呼吸器内科外来、入院受付、救急外来、2階外来エスカレーター前に設置しています。また、病院ホームページの「地域の方へ」にも掲載しています。

Vol.1	医療機関の役割分担について
Vol.2	療養型病院(病床)のご案内
Vol.3	回復期リハビリテーション病院(病床)のご案内
Vol.4	高齢者施設のご案内
Vol.5	限度額認定証について
Vol.6	介護保険のご案内
Vol.7	地域包括支援センターのご案内
Vol.8	在宅で利用できるサービス
Vol.9	居宅介護支援事業所・介護支援専門員について

◀これまでに発行した情報誌のタイトル